

議 事 要 旨

日時：平成 20 年 10 月 8 日(水) 10:00～11:15

場所：角筈地域センター 7 階 会議室 A・B

1．開会

2．報告事項

- ・新宿駅周辺循環型バスの現在の状況と課題について（事務局）

3．委員からの主な意見・質問

会長・副会長からのコメント

- ・コンセプトの「環境」について、駐車場に車を置いて百貨店や様々な店舗に行く場合の具体的かつ技術的な方法の工夫を検討する必要がある。
- ・「観光」については、様々な地域から来た人が、バスに乗ればすぐ、気軽に観光スポットや商業施設などに行けるようにできたらよい。
- ・「観光」では、外国人観光客を東口の繁華街へ安全にわかりやすくガイドする。外国人に対するインフォメーションをどうするか、どういう形でなにをやっていくのかの検討が必要になる。
- ・「歩行支援」については、駅間や店舗間をつなぐということで、歩行支援に効果的だという具体例を見つけ出さないといけない。
- ・すべてのコンセプトにかかるのが、「利用者にわかりやすい」と「地域シンボルデザイン」。
- ・運行ルートやバス停の位置については、初めての人でも利用しやすいといったことを念頭に置いたインフォメーションをきちんとしていくべきである。
- ・バス停の設置作業が一番時間がかかる。また、車両製作は年度末導入は錯綜する時期なので、前倒して作業を進めていったほうがよい。
- ・ノンステップバスをバス停に正着させるという課題は、テラス形のバス停を作ることが出来れば、大半は解決すると思う。しかし、実施に移すには、かなりの議論と各方面の理解が必要であり難しい。ただ、こういった議論は引き続きしていく必要があるのではないか。
- ・バスを正着させるには、くの字型に切りかく方法というのが効果があると思う。運行し始めてからでも遅くないので、早めに道路関係者と相談して、検討の視野に入れてほしい。
- ・バスの運行やコンセプトの周知は、区と運行事業者で計画を練って、1月ぐらいから始めるようなスケジュールで進めて行くのが良いのではないか。
- ・運賃については、100円では採算ベースは厳しいと思うが、ロケーションや距離が長くない、歩行支援でつかえるくらいの距離のバスである、ということを考えれば、妥当である。

ユニバーサルデザインについて

- ・ノンステップバスだと、車椅子やバギーは中乗り・中降りになる。既存のバス停と共有する場合、バスの大きさにより中扉からの乗降のドア位置が既存のバス停と一致しない可能性がある。中型のバスを導入検討しており、ドア位置（乗降位置）がずれる可能性がある。バス停付近の道路の形態を自費（区費）工事で改修することも考えており、可能な限り齟齬のない改修をしていきたい。

- ・バス停への正着について、路上駐車に対する警察の取締等と一体で考えているか。
正着については、ドライバーの教育と警察の問題、テラス型・くの字型切りかきといったバス停の構造、これらを一体的に議論しなければいけない。

コンセプトについて

- ・環境交通といった場合、環境というのは単に渋滞対策だけではなく、歩きやすくなるといったことも重要な環境要素になるのではないか。
- ・人の行動を積極的に変えていくインセンティブをあたえられないか。なるべく車で来ない、車で来た場合はなるべくバスを使って大渋滞のところで車を待たないとか、モビリティ・マネジメントのようなことを期待できないか。
- ・アジアから来るお客様が多く、ショッピングの袋を持って帰ってくるお客様も多いので、観光という視点はあると思う。
外国人には「わかりやすさ」が重要で、このバスに乗れば に行ける、というような誘導が観光では必要である。
- ・ホテルや大規模商業施設・店舗の総合的な協力で、観光というのが生きてくるのではないか。

パークアンドバスライドについて

- ・新宿に来る人たちにどうやって知ってもらうかが最大のポイントになる。
- ・パークアンドライドについては、デパートなどの大規模商業施設に来た人に宣伝する方法がかなり大事。また、様々な店舗にご協力をお願いしたい。

定時性の確保について

- ・定時性が確保されないと、利用する人がとたんに少なくなってしまう。
- ・特にシンクで大渋滞を起こす場所なので、警察との相談がかなり重要である。
- ・警察でコントロールが出来ない部分は、できる限りインフォメーションでカバーする。
- ・遅れの生ずる可能性を検討して、その場所や特定区間をどうクリアするか、あるいは、遅れを折り込んだ時刻表を作るなどの検討をしたほうがよい。

次回の会議について

- ・バス停の位置などだけでなく、車両の具体的な仕様も提示してほしい。
- ・乗務員教育について、事業者だけの研修だけでなく、多様な利用者を想定した研修を行う必要がある。どういう人たちを対象とした教育をするのか等、研修計画として事前に示してほしい。
乗務員教育は、バス会社に自発的な計画をしてもらうか、自発的な計画が難しい場合は、こちらでなんらかの支援をするということがありうる。
- ・運賃についても協議が必要である。スケジュールなり次回の検討の中に加えてほしい。
事務局としては、可能であれば1コインにしたいと考えている。割引料金などについては、別途考えていきたい。

- | | |
|--|-----------|
| ・停留所の位置 | ・運行回数やルート |
| ・運賃 | ・車両の仕様 |
| ・乗務員の外国人に対する対応、外国人に対するパンフレット等も含めたインフォメーション | |
| ・循環型バスを利用する人に対するインフォメーション方法（ルートマップ等） 等 | |